

北マリアナ諸島海外安全対策情報

(2019年7月～9月)

1. 社会・治安情勢

内政上特に大きな問題はなく政情は安定しており、治安情勢に特段の変化は見られません。対日感情も良好です。

2. 一般犯罪・治安情勢

当事務所が新聞報道等により把握している管轄地域内の当該四半期における犯罪種類別の発生状況(件数)は、殺人(0件)、強盗(3件)、暴行・傷害(4件)、性犯罪(0件)、詐欺(0件)、麻薬(3件)、侵入窃盗(6件)、窃盗(ひったくり、置き引き、車上狙い等を含む)(11件)、その他犯罪(7件)です。

いわゆる観光スポットやビーチでの車上狙い等が横行している他、一般住宅においても駐車車両への車上狙いが確認されています。また、宿泊施設においても、不在中の窃盗事件が確認されていることから、短時間であっても貴重品等は放置せず、確実な施錠を心掛けてください。

また、依然として観光客を狙ったひったくりも確認していることから、外出時はカバン等の所持品を車道側で持ち歩かない等所持品の携行方法を意識した上で、周囲の状況、特に後方に対しても注意を払うよう心掛けてください。特に、夜間時間帯に人通りの少ない場所、街灯が無い又は街灯の暗い場所を歩行する際は一層注意を払うことが肝要です。

更に、商店での強盗事件が確認されていることから、事件に巻き込まれないよう十分気を付けてください。万一、このような事件に遭遇した際は、身の安全を第一に考え、慎重に行動することが重要です。

当該四半期における主な犯罪事例は次のとおりです。

●7月14日朝、サイパン島北部マッピ地区のスーサイドクリフで、男性がアジア人男性の所持していたカメラを窃盗し、逃走した。

●7月14日夜、サイパン島中部ガラパン地区の路上で、女性観光客とその娘が歩行中、背後に駐車した車から降りてきた男性に、旅券、腕時計、クレジットカード、現金等の入ったカバンをひったくられた。

●7月22日夕刻、サイパン島中部ガラパン地区のホテルで、ハウスキーピングが宿泊客の客室清掃を終えた後、男性が部屋に侵入し、宿泊客の所持していた現金、クレジットカード、携帯電話を窃盗した。

●7月23日昼、サイパン島南部オブジャン地区のラダービーチで、旅行客がレンタカーを駐車場に止め、ビーチで写真を撮影している最中にオープンカーの帆が切られ、現金やクレジットカード等の所持品を盗まれた。

●7月23日夜、サイパン島北部マッピ地区のラスト・コマンド・ポストで、女性観光客数人が写真撮影中に車内に置いていた旅券、現金、運転免許証等の入ったカバンを盗まれた。

●7月26日夜、サイパン島南部ススペ地区のホテルで、宿泊客が外出中に客室内に置いていた携帯電話を盗まれた。

●8月11日朝、サイパン島中部チャランギザ地区の住居で、留守中に何者かが侵入し、テレビや音響機器等を窃盗した。

●8月11日夜、サイパン島南部チャランカノア地区のアパートで、駐車中の車3台が車上荒らしに遭い、車内に置いていたパソコン等を盗まれた。

●9月8日朝、サイパン島南部チャランカノア地区の商店で、男性が従業員にナイフを突きつけ現金を奪い、店外に出たら殺すと脅しつつ逃走した。

- 9月9日、サイパン島中部チャランラウラウ地区の商店で、男性が従業員にナイフを突きつけ現金を奪い逃走した。
- 9月9日夜、サイパン島南部チャランピアオ地区のレストランで、男性が従業員にナイフを突きつけ現金を奪い、警察に通報したり、店外に出たら殺すと脅しつつ逃走した。
- 9月12日夕刻、サイパン島北部マッピ地区のグロットで、男性が駐車車両の窓ガラスを割り、車内の所持品を窃盗しようとしたところ、被害者が男性に気付き、未遂のまま、男性は逃走した。

3. テロ・爆弾事件発生状況
情報には接していません。
4. 誘拐・脅迫事件発生情報
情報には接していません。
5. 日本企業の安全にかかわる諸問題。
特にありません。